



津田小だより

松江市立津田小学校

令和7年6月17日

校長 小林 敏朗

先週、梅雨入りをしました。これからの時期、天候や大雨情報が気になるところです。先日、津田古志原夢きぼう学園の「令和7年度非常災害時・荒天時等の臨時休校等の対応」を配付しました（本校ホームページにも掲載しています）。基本的に学校はこれに従って対応していこうと考えています。しかしながら、5月21日下校時の突然の雷雨のように、今後も臨機応変に対応すべきこと、急遽にはなりますが保護者の皆様のご協力をお願いすることなどもありえます。学校では、まずは児童の安全を第一に考えていきます。今後とも、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。改めまして、5月21日の保護者引き渡しにはお忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。

みんながんばりました！津田っ子大運動会！！

5月31日（土）に津田っ子大運動会を行いました。1週間前くらいから天気予報を見てはドキドキしていましたが、31日（土）は見事な青空、とても気持ちのよい天候の中、運動会を開催できました。保護者の皆様には早朝より子どもたちにあたたかい拍手やご声援をいただき、ありがとうございました。また、PTA 執行部やボランティアの皆様には、前日から当日の朝の準備、運動会後の片付けまで大変お世話になりました。おかげさまで運動会を開催することができました。ありがとうございました。





運動会全体を通して、子どもたちは一生懸命にがんばりました。子どもたち一人一人が一生懸命に種目に取り組んだり、同じ色の仲間を応援したり、担当の先生に言われる前に動こうと係の仕事をしたりする姿や顔、表情はとてもかっこいいですし、素敵だなと思いました。そして、我々大人や周りで見ている人に感動を与えてくれます！また、運動会を終えた後の各色のふりかえりの時間がとても有意義だなと思いました。運動会当日のことだけでなく、それまでの応援練習の取り組みやその時々の自分の思いをふりかえることは子どもたちの成長にとってとても大きなことです。どの学年の子どもたちにも今回の運動会を通して、自分がかんばったことやできるようになったこと、新しい自分を発見したことなど、しっかりとふりかえりをして、次の成長へとつなげてほしいと思います。そしてもう一つ、運動会で素敵だなと思ったこと。それは、学年種目や全校での種目で負けた時に涙を流している子がいたことです。きっと悔しかったのでしょう。「勝ちたい」という一心でがんばり、結果は負けてしまい、「悔しい！」と思って流す涙。こういう経験ができることも運動会の大切な学びの一つだと思います。前日までの練習や取り組みを含め、素敵な姿をたくさん見ることができた津田っ子大運動会になりました。

日々の遊びに思うこと

登校から下校するまでの学校生活の多くの時間は、授業、学習の時間です。1時間1時間の授業や子どもたちにとっての学習を大切にすることはもちろんですが、大休憩（20分）や昼休憩（25分）の時間、子どもたちが遊ぶ時間も大切な学びの時間と考えています。子どもたちは思い思いに友達と



6月11日（水）大休憩の中庭の様子

ドッジボールやサッカー、鬼ごっこをしたり、お絵描きやおしゃべりをしたり、カードゲームをしたりしています。この時間は、子どもたちにとって他者と関わる力や、考えや思いが違う他者と折り合いをつける力をつける大事な時間だと思います。最近よく耳にする言葉で言うと「非認知能力」の一つであり「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる力」にあたります。例えば、自分の思い通りにならない場面でどう相手に接するのか、自分の中でどう折り合いをつけるのか、子どもたちは遊びを通して学んでいることだと思います。これからも日々の学習や友達同士の関わり方の両面から子どもたちの成長を促していきたいと考えています。